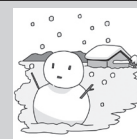


【道徳の時間】 No.5 良心に恥じない生き方

足袋の季節



出典 廣済堂あかつき 中学生の道徳「自分を考える」(中学2年)

ねらい

主人公が持ち続けたおばあさんをだました自責の念と、そのおばあさんの「ふんばりなさいよ」の言葉に支えられた人生を通して、良心に恥じない生き方をしようとする態度を養う。



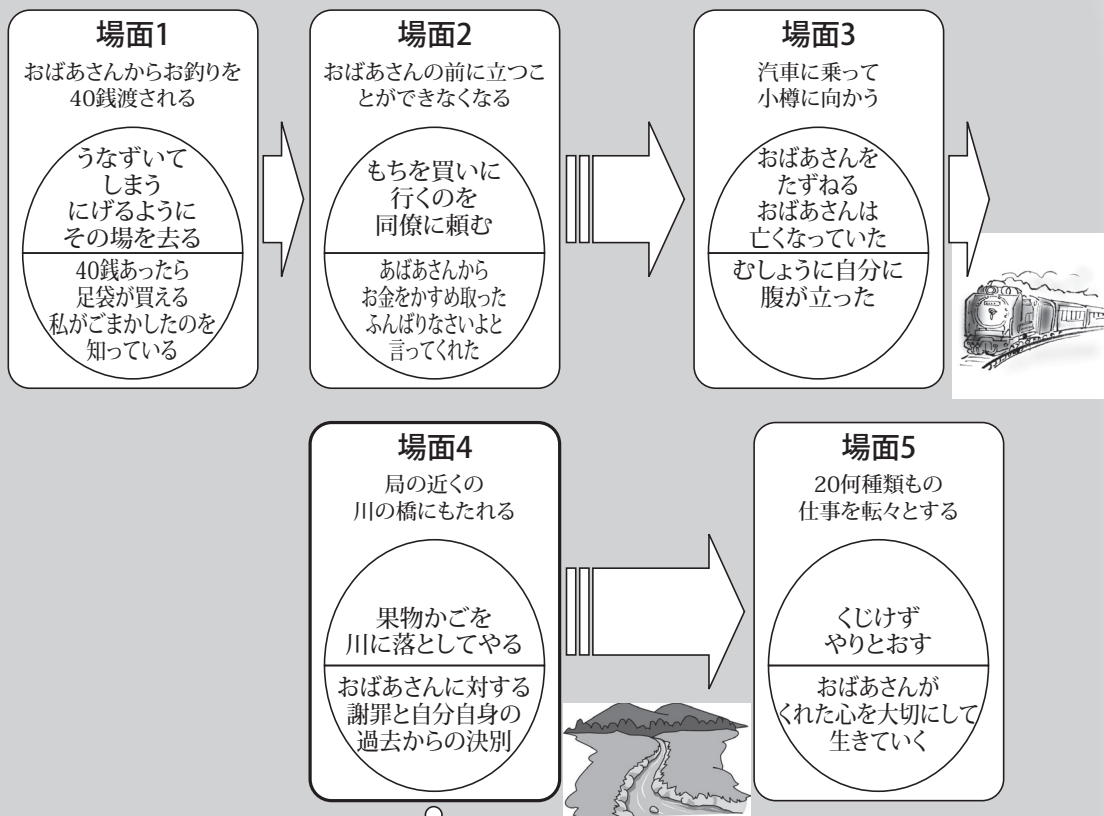
ふんばって
生きる

内容項目3－(3)

3つの意欲のうちの【自分を高めようとする意欲】

資料の 分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

主人公の人間としての弱さ（場面1）や良心に苛（さいな）まれる部分（場面2）に共感させたいうえで、果物かごを川に落とし、自分の生き方を変えようとする主人公の態度（場面4）を考えさせる。



教師の主な発問



予想される生徒の意見

ここがポイント

◎ 導入 「ふんばる」という言葉はどんなときに使われる？

① 主人公はどんなことを考えながらその場を去ったのでしょうか

- ・ おばあさんに待ってと言われまいだろうか
- ・ ばれないうちに早く逃げよう
- ・ 嘘をついていいのだろうか
- ・ これで足袋が買える

② どんなことを考えながら汽車に乗っていたのでしょうか

- ・ おばあさんはゆるしてくれるだろうか
- ・ おばあさんに会えるだろうか
- ・ なんと行って謝ろうか
- ・ やっと正直に謝ることができる

③ なぜ果物かごを川に落としてやったのでしょうか？

(補助発問) 主人公は果物かごを見ながらどんなことを考えていたのでしょうか？

- ・ おばあさんに本当のことを言えなかった自分に対して腹が立った
- ・ おばあさんが亡くなる前に、来ればよかったという後悔
- ・ 本当に申し訳ないという謝罪の気持ち
- ・ おばあさんへの感謝の気持ちとお詫びを届けたかった

- ・ これからは正直に生きよう
- ・ 同じ過ちは繰り返さないでおこう

④ 「おばあさんからもらった心」って何でしょう？

- ・ つらくても正直に生きる大切さ
- ・ 自分がしんどくても人のことを考えることができるやさしさ
- ・ ずるい生き方をしないで精一杯生きることの大切さ

◎ 終末 今日の授業の感想を書こう

● いいなと思ったことや、気になったところに線を入れさせる。

● ごまかしてしまった主人公の弱さが、人間の誰もが行う可能性のある弱さとして、生徒に共感させる。

● 良心に苛(さいな)まれる部分、悔い改めようとする部分に着目させる。

● (工夫)

● ③の発問をするときに実際に果物かごを落とす場面をさせてみる。



● 何故そのような落とし方をしたのか？

● おばあさんの死により、やるせない気持ちを生涯もち続けて生きていかないとけない。



● 仕事を転々としながらも良心に恥じない生き方をしようとする主人公の姿をとらえさせる。

● ④の発問のときにワークシートを活用する。

板書の例

ふんばりなさいよ

こころ

どんなにつらくてもくじけたりダメ
ぎりぎりのところまであきらめない



おばあさんからもらった心とは？

果物がごを川に落としてやった

おばあさんごめんさない
同じ失敗はしない
もっと早く来たらよかった
おばあさんに届けたかった
自分の弱さを捨てたかった



汽車に飛び乗り、小樽に向かう

おばあさんに正直に謝りたい
おばあさんは許してくれるだろうか
おばあさんに会えるだろうか



ふんばりなさいよ

足袋が買える
ばれたらどうしよう
やってしまった

にげるようにその場を去る

主人公

とても貧しい
十歳前後
小樽の郵便局で働く

おばあさんの死

内容の関連

◎ 自分を高める② 「良心に基づいた行動について考える」 (2年1学期) 取組み例

キャリア教育

<総合的な学習の時間>

関連のある活動(例)



【一人暮らしのシミュレーション】

18歳で一人暮らしを始める設定をイメージして、お金と人生と自分の関係を考える。
働くことを思い描くことで、勤労の意義や仕事への関心を高める。
(未来を設計する)

【職業インタビュー①】 <特別活動/学校行事>

身近な人からの聞き取りを通し、「生きがいのある人生」について、考える。

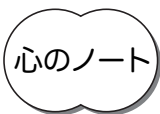
道徳教育

<道徳の時間>

【足袋の季節】

人間の弱さを克服し、よりよく生きること喜びを見いだす。

心のノートとの関連



- 「いまからのわたし」を育てていきたい (p82~83)
- 「生きがいや生きる喜びについて考えてみよう」
- ～あなたが目指す生き方とは～

「おばあさんからもらった心」とは、
いったい何だろうか？

ふんばりなさいよ

_____ 班 名前 _____

【道徳の時間】 No.7 働くということ

ぼくの仕事は便所そうじ

出典：文溪堂「6年生の道徳」

ねらい

主人公の仕事に取り組む姿勢の変化を考えることを通して、働くことの意義を理解し、社会に奉仕しようとする実践意欲を養う。



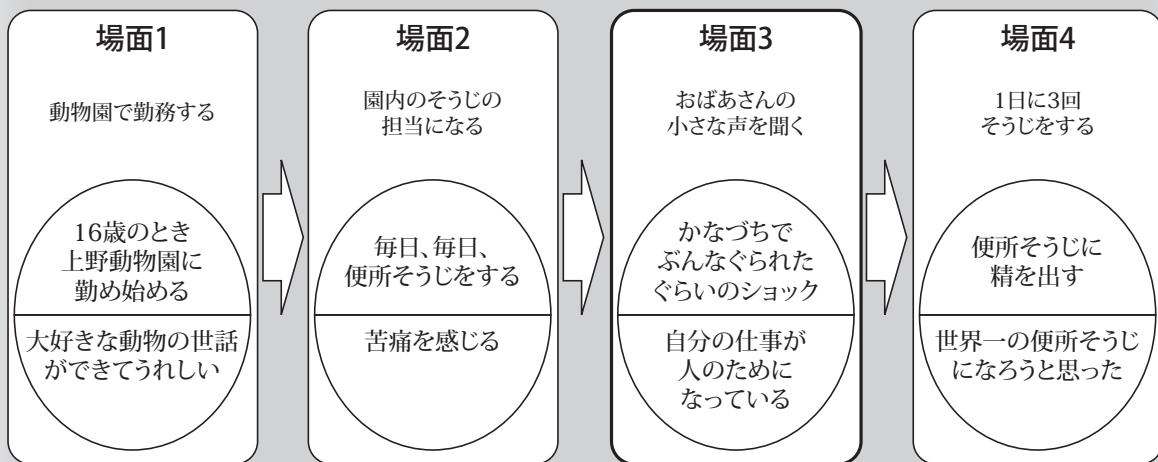
公共のために
役立つ

内容項目4－(5)

3つの意欲のうち【自分を高めようとする意欲】【他と共に高まろうとする意欲】

資料の 分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

おばあさんの一言を聞いて、主人公の仕事に対する気持ちが変わり、その後の取り組む姿勢の変化につながっていった場面を考えることを通して、自分の仕事や役割に誇りをもつことの大切さに気付かせる。



教師の主な発問



予想される生徒の発言

ここがポイント

◎ 導入 職場体験学習の感想を聞く。

① 上野動物園に就職が決まったとき、「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう

- ・ 大好きな動物にかかわる仕事ができうれしい
- ・ 自分の夢がかなった
- ・ がんばって仕事をしよう

● 職場体験活動に行った感想を聞く。

② 毎日、毎日一人で便所そうじをしているとき、「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか

- ・ いやだなあ、やりたくない
- ・ 動物の世話がしたい
- ・ なぜ自分がこんな仕事をしないといけないんだろう
- ・ 仕事だから仕方がない

● 自分の夢がかなった喜びや希望に燃えて就職したことを押さえていく。

③ かなづちでぶんぐられたぐらいのショックを受けたとき「ぼく」は何を考えたのでしょうか

- ・ まさか喜んでくれる人がいるとは思わなかった
- ・ こんな仕事と思っていたが、大切な仕事と気付いた
- ・ 誰かがしないとといけない仕事であることが分かった
- ・ 便所そうじを馬鹿にしていた自分が恥ずかしい

● 便所そうじを嫌々している「ぼく」の不満に共感させる。

(補助発問) 便所そうじに対する見方がどう変わったのでしょうか

④ 便所そうじを通して「ぼく」は何を学んだのでしょうか

- ・ 自分の仕事に誇りをもつことが大切
- ・ どんな仕事もプラスに考えてしないといけない
- ・ 仕事は自分のためだけではなく、他の人のためにすることも大切である
- ・ みんなが嫌がるような仕事でも誰かがしないといけない

● 「ぼく」の仕事に対する気持ちの変容や姿勢の変化から、「働く」ことの意味を理解させていく。

● 最初から仕事のやりがいをもてるのではなく、仕事をしているうちに見いだしていくこともあることに気付かせる。

◎ 終末 「自分の職業を選ぶ日のために」を配付し、読ませる

● 終末にゲストティーチャーを招くことも考えられる。

板書の例

仕事の意義



本当に気持ちがいい。
ありがたい

「ぼく」が学んだこと

- どんな仕事もプラスに考えてほしいといけない
- 仕事は自分のためだけでなく、他の人や社会のためにも大切なことである

転機

かなづちでぶんなくられたぐらいのショック

- 喜んでくれる人がいるとは
- 大切な仕事と気づいた
- 便所そうじを馬鹿にしていた自分が恥ずかしい

現実



毎日、毎日一人で便所そうじ

- いやだなあ、やりたくない
- なぜこんな仕事をしないといけない
- 仕事だから仕方がない

夢



就職が決まったとき

- 大好きな動物にかかわる仕事ができうれしい
- 自分の夢がかなった

ぼくの仕事は便所そうじ

内容の関連

◎ 社会に参画する② 「働くことの意義や尊さを理解する」 (2年2学期) 取組み例

キャリア教育 <総合的な学習の時間>

【お店屋さんを出店しよう!】
店の出店計画を考える中で、集客力や、稼働率、経済価値について理解する。
図から情報を取り出し、出店する条件を考察し、プレゼンテーションする。
(未来を設計する力) (社会に参画する力)



関連のある活動(例)

【職業インタビュー②】<特別活動/学級活動>
様々な職種の方からの聞き取りを通して、「働くこと」に共通する意義を見いだす。

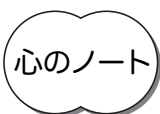
【清掃活動】
清掃活動の意義を知り、進んで仕事に取り組む。

道徳教育 <道徳の時間>

【「やべち」に学ぶ】
勤労の大切さを知るとともに、社会への奉仕の気持ちを深め、それを実践しようとする。

【ぼくの仕事は便所そうじ】
働くことの意義を理解し、公共のために役立とうとする。

心のノートとの関連



■ 考えよう「働く」ということ (p108~111)
私は「働く」ことをこんなふうに考える

【道徳の時間】 No.8 相手を思いやる

あるレストランでのできごと

出典 三笠書房「ディズニーランド流心理学」

ねらい

若い夫婦の注文を受けたあとのキャストの行為を考えることを通して、相手の気持ちを察して行動しようとする心情を養う。



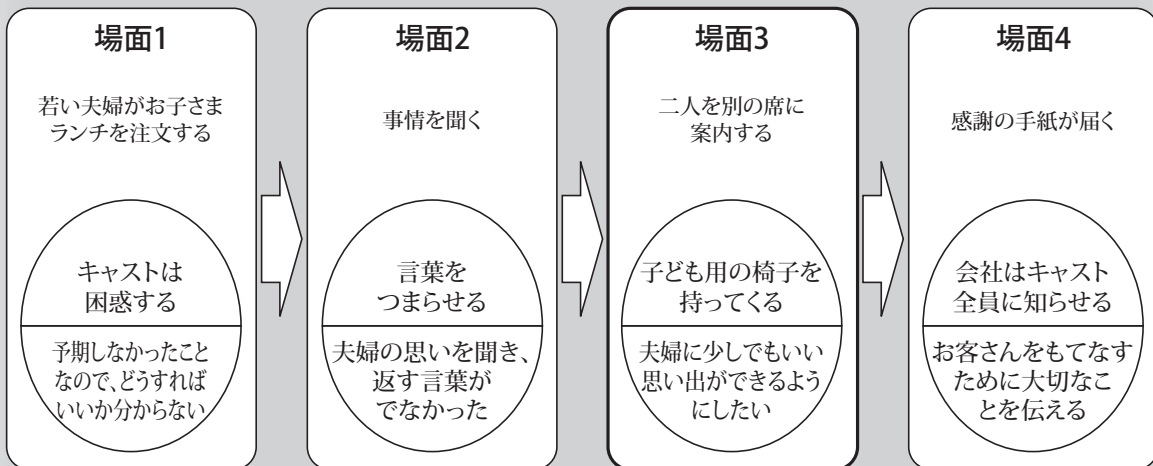
相手を
思いやる

内容項目2-(2)

3つの意欲のうちの【他と共に高まろうとする意欲】

資料の 分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

キャストが、マニュアルに違反してお子さまランチを出した理由や、家族4人用の席に案内し、子ども用の椅子を出した理由を考えることを通して、相手の心を察して行動しようとする心情を養う。



教師の主な発問



予想される生徒の発言

ここがポイント

◎ 導入 マニュアルのサンプルを見せる

① お子様ランチの注文を受けたとき、キャストはなぜ困惑したのでしょうか

- ・ マニュアルで禁止されているから出せない
- ・ どうやって断ろう
- ・ 予想外の注文なのでどうしたらいいか迷う
- ・ 何でお子様ランチを頼んだのか疑問に思う

② 本当の理由を聞いたとき、なぜ言葉に詰まったのでしょうか

- ・ 思いがけない理由だったから
- ・ 注文できないことを説明しようと思っていたが、それはできないと感じた
- ・ マニュアルを守ったほうがいいのかどうか、判断に困った

③ なぜマニュアルに違反してお子様ランチを出したのでしょうか

- ・ マニュアルを守って、この夫婦をさらに悲しい思いにさせたくなかった
- ・ マニュアルを守ることに疑問を感じたから
- ・ 亡くなった子どもさんとの約束を果たすのを手伝いたいと思ったから
- ・ この夫婦のために少しでもいい思い出を作りたいと思った

補助発問：キャストが子ども用の椅子や4人席まで用意したのは、どうしてでしょう？

④ 会社は、このキャストの何をほめたかったのでしょうか？

- ・ マニュアルにないことが起こったときに、自分で判断したこと
- ・ お客様の立場に立って、接することができたこと

◎ 終末 この話は、「夢と魔法の王国」といわれるテーマパークの中にあるレストランであった話です
(テーマパークのイメージに合った音楽を流す)

● マニュアルのサンプルを配付し、何のために作られるのかを簡単に説明する。

● マニュアルに書かれていることだが、対応の仕方を迷っているキャストの心情をつかませる。

● 想定外の理由に一瞬言葉が詰まったキャストの心情を押さえる。

● キャストの夫婦に対する細やかな心づかいを押さえながら考えさせる。

● マニュアルは、客をもてなすために作られたものであり、もてなすために最も大切なことは相手への思いやりであることに気づかせる。

● 音楽を聞かせる。

● キャスト＝（映画やドラマ）の配役

板書の例

あるレストランでのできごと

マニュアル

様々な状況を想定して、それらの状況に対応する方法を示したもの

お父さまランチをください

「…」(言葉につまる)

実は…

「ご家族でごゆっくりお楽しみください」マニュアルを破る

違反

寝め称えられた

- ・マニュアルにないことが起ったときに、お客さんの立場になって判断したこと
- ・お客さんに対して思いやりの心をもって接したこと

マニュアルで禁止されているから出せない
どうやって断ろう
予想外の注文なのでどうしたらいいかわからない

思いがけない理由だったから
マニュアルを守ったほうがいいのかどうか、判断に困った

マニュアルを守ること疑問を感じたから
亡くなった子どもさんとの約束を果たすのを
お手伝いしたいと思ったから

夢と魔法の王国

内容の関連

◎ 社会に参画する③ 「社会貢献について考える」 (2年2学期) 取組み例

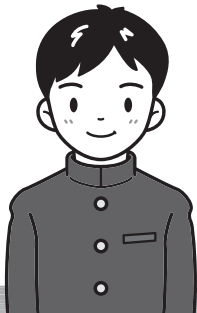
キャリア教育

<総合的な学習の時間>

関連のある活動(例)

【職業の関連図をつくらう】

就いてみたい職業や地域の産業、そこで働く人の思いを知るを通して、自分にあった仕事に興味を抱く。
コンテンツを活用して職業の適性を知ること、社会との関わりを前向きに考える態度をはぐくむ。
(未来を設計する) (社会に参画する力)



【職業体験】

自己の能力・適性についての理解を深めるとともに、人生における仕事の意義について理解する。

道徳教育

<道徳の時間>

【あるレストランでのできごと】

相手の気持ちを察し、思いやりのある行動をしようとする。

心のノートとの関連

心のノート

■ 思いやる心はきっとあたたかい (p50~51)

「思いやり」について感じたこと、考えたことはありますか？

接客マナーは心の礎 (飲食店用マニュアルの例)

- ① お客様に気づいたら、一步踏み出して止まり、会釈
アイコンタクトし明るい表情で挨拶する。
『いらっしゃいませ、ようこそ』『ようこそ、お待ちいたしておりました』
- ② 人数を確認する
『〇名様でございますね』 (人数が明らかな時)
『何名様でございますか』 (人数が不明の時)
- ③ 返事を聞いて、席に誘導する
『はい、かしこまりました。ご案内致します』進む方向を拳で指し、示して、
『どうぞ、こちらで御座います (こちらのお席をお使いくださいませ)』席に案内したら、
了解を求める。
『こちらのお席でございますが、よろしいですか』『どうぞ』
場合によっては、椅子を引くなど着席補助をする。
※メニューは、左手で軽く抱え持つ
- ④ お客様の着席を見届けて一呼吸置いて、丁寧にメニューを差し出す
『メニューでございます。(どうぞ) ご覧くださいませ』
※表紙を表面にしてお客様の左側 (または右側) から出す。(両手で)
※両手を添えて。おへそに向けて45度の角度で出すと受け取りやすい。
※メニューは一人一冊が原則。ただしグループ客には適度に配る。
※メニューは、主賓から差し出す
- ⑤ お客様がメニューを受け取ったら
『後程お伺いにまいります。ごゆっくりお選びくださいませ』
- ⑥ 軽く一步下がって一礼、下がる



【道徳の時間】 No.9 なかまと共に

二枚の写真

出典 廣済堂あかつき 中学生の道徳「自分を見つめる」(中学1年)

ねらい

主人公の同級生と一緒に同じことをしたいという気持ちを考えさせることを通して、級友に対する敬愛の念を深め、自分たちの学級や学校を大切にしたいという心情を育てる。



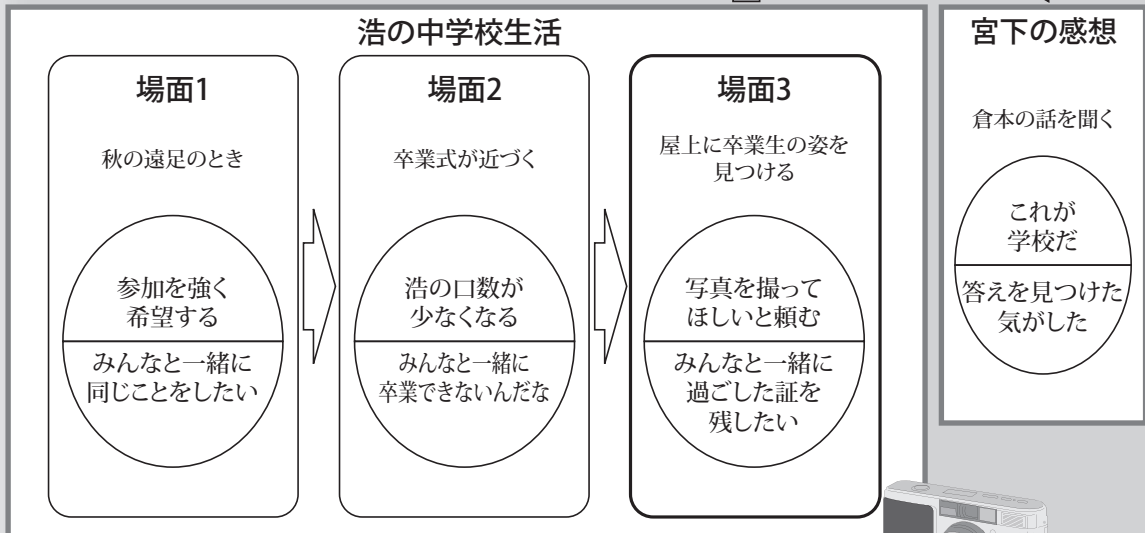
みんなと一緒に同じことをしたい

内容項目4-(7)

3つの意欲のうちの【他と共に高まろうとする意欲】

資料の分析

資料の組み立て



資料を活用するポイント

浩に焦点を当て、充実した学校生活の根本にある、友達と「つながっていたい」という気持ちを考えさせることを通して、自分の学校やそこで一緒に生活する仲間を大切にしたいという心情を育てる。



教師の主な発問



予想される生徒の発言

ここがポイント

◎ 導入 来年、みんなはどんなクラスをつくりたいですか？

① 秋の遠足のとき、浩は、なぜ参加を強く希望したのでしょうか

補助発問：クラスのみんなはどうして弁当に手をつけずに浩を待ったのでしょうか

- ・ みんなと一緒にいきたい
- ・ 今回行かないとその次は行けるか分からないから
- ・ みんなと同じことがしたい

- ・ 浩や班の人ががんばっているのが分かっているから
- ・ 浩や班の人に悪いから
- ・ みんなで一緒に食べないといけないから
- ・ みんなと一緒に食べたいから

② 卒業式が近づいた頃、浩はどんな気持ちだったのでしょうか

- ・ みんなと一緒に卒業することについてあきらめの気持ち
- ・ つらい
- ・ もうみんなと生活を一緒にできなくなる寂しさ

③ 浩が写真に残したかったものは何でしょうか


補助発問：浩はこの後、どんなときに二枚の写真を見るのでしょうか

- ・ みんなと一緒に卒業したという証
- ・ これまでの生活の思い出
- ・ お世話になった同級生との生活
- ・ みんなとの絆
- ・ 卒業後はばらばらになるけど、いつまでもつながっているという証

◎ 終末 「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」を視聴する

- 導入は深入りせず、展開に入る。
- 筋ジストロフィーについて説明する。
- 「筋肉がしだいに萎縮し、筋力が低下していく病気」
- 浩のみんなと一緒に同じことをしたいという気持ちと、クラスのみんながその気持ちを理解していることに気づかせる。
- みんなと一緒に同じことができないことに気づいた浩の心情に共感させる。
- 浩が写真に残したかったものを考えることを通して、仲間や学校を大切にしようとする心情をはぐくむ。
- 「1年間の活動記録」をビデオで映しながら、聴かせるなどの工夫も考えられる。

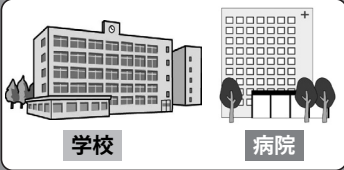
板書の例



二枚の写真

写真に残したかったもの


- ・ みんなと一緒に卒業したという証
- ・ これまでの生活の思い出
- ・ お世話になった同級生に対する記憶
- ・ これからもつながっていくこととする証



学校 **病院**

卒業式が近づく↓口数が少なくなる

- ・ みんなと一緒に卒業することができないのでつらい
- ・ もうみんなと生活を一緒に生活できなくなるので寂しい



みんなと一緒に同じことをしたい

母親↓欠席させたい 浩↓参加を強く希望

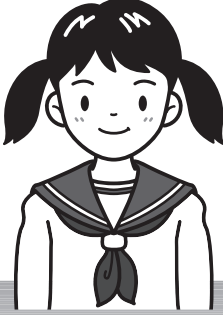
- ・ みんなと一緒にいきたい
- ・ みんなと同じことがしたい
- ・ 浩や班の人ががんばっているのが分かっていて

内容の関連

◎ まわりと共に高まる① 「よりよい集団や社会をつくる」 (2年3学期) 取組み例

キャリア教育 <総合的な学習の時間>

【市長になって、住みよいまちをつくらう】
よりよいまちづくりを考えることにより、地域社会の一員としての自覚を高める。
日常生活から、市民としての社会的役割を考え、自己の生き方を考えることができる。
(未来を設計する力) (社会に参画する力)



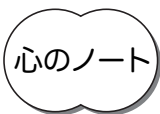
関連のある活動(例)

【学年集会】<特別活動/学級活動>
【修了式】<特別活動/学校行事>
1年間の生活を振り返り、自らの成長を確かめるとともに、進路や生き方を考える準備をする。

道徳教育 <道徳の時間>

【二枚の写真】
学校に愛着や誇りをもち、その一員としてよりよい学校づくりに意欲的に取り組もうとする。

心のノートとの関連



- 太陽みたいにきらきら輝く生涯のたからもの (p52~53)
記述欄「友情のぬくもりに触れたとき、あなたの思いを書き込んでおこう」
- この学校が好き (p116~117)